

市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議会報

NO. 8
平成18年
(2006)

環境ひらかた

1
月号



ひらかたエコフェアの企画・運営に参画

行政と協働で取り組む

地球温暖化など地球規模の環境問題を解決するため、現在の大量消費の生活スタイルを問い直そうと、市民、事業者、行政の三者が協働して行うイベント「ひらかたエコフェア 2005」が、11月20日、ラポールひらかたで開催されました。ひらかた環境ネットワーク会議は、今回から実行委員会・事務局に参画し、企画から運営まで行政と協働して取り組みました（2ページに関連記事）。

目次

エコフェアに参加しました	2
NPO法人設立総会開催	3
各部会&運営委員会の活動	4
公共交通部会紹介	6
お知らせコーナー	7
団体紹介（大阪ガス）	8

ひらかた
エコフェア
2005

ストップ・ザ・温暖化をテーマに展示

自転車発電装置などの体験コーナーが盛況

来場者でにぎわうネットワーク会議のブース



エコオークションなどの新しいイベントも

「ひらかたエコフェア」は、より多くの人に環境問題について考えてもらおうと、ひらかたエコフェア実行委員会が毎年行っているもので、今年で8回目を迎えます。

今年のテーマは「ストップ・ザ・温暖化」で、会場では温暖化について考える講演会や、エコオークション、ブレーキを踏むとエンジンが自動的にストップする「アイドリングストップ車」の試乗会、家庭で不要になった衣類やおもちゃなどを販売するフリーマーケットなどが行われ、1万7000人の市民が会場を訪れました。

活動内容の展示やアンケートなどを実施

ひらかた環境ネットワーク会議では、3階ロビースペースと屋外テントで各部会の活動内容のパネル展示やスタンプラリーなどを行いました。

自然環境部会では、枚方市の地図を展示し「私の残したい市街地緑地」や「わたしのおススメ水辺スポット」などのテーマで、来場者が地図にシールを貼りマップを完成させました。

ごみ・エネルギー部会では、「自然エネルギー学校」の紹介や、「地産地消型食の循環システム」などを展示しました。

公共交通部会では、11月10日～16日に実施した「京阪牧野駅ー中央図書館のレンタサイクル実験」の様子を写真で紹介したり、これから作成する「くずは・男山地域のバスタウンマップ」に関する資料を展示しました。

まちづくり部会では、今までの活動状況の紹介や、「もったいない」をテーマに、身近にある枚方の「もったいない」スポットを写真付きで紹介しました。

環境教育サポート部会では、枚方市内の小学校で実施した「出前実験授業」の写真を展示しました。また屋外ブースでは、自転車のペダルをこぐとテレビのモニターに映像が映る「自転車発電装置」の体験コーナーや「環境語り部」のコーナーなど多くの親子連れでにぎわいました。

大人気のスタンプラリー

できるだけ多くの人にネットワーク会議のブースへ来てもらおうと、今年も景品付きのスタンプラリーを実施しました。これは5部会6か所の展示ブースと屋外テントを周り、スタンプを6個集めた来場者に、景品（お菓子詰め合わせ）をプレゼントするというもので、子どもをはじめ、多くの来場者が参加しました。



アンケート用紙に記入する来場者

臨時総会 & NPO法人設立総会を開催 任意団体解散とNPO法人設立を承認



「平成 17 年度第 1 回臨時総会」と「特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議設立総会」を、10 月 23 日に、メセナひらかた大会議室で開催しました（写真上）。

NPO法人成立後、現在の任意団体は解散

臨時総会は、定刻の午後 1 時に開会し、会員数 194 名、出席者 111 名により、定足数を満たしていることが確認され、総会が成立しました。

その後、議長に石原了さんを選出し、議事に入りました。議長の進行により、第 1 号議案「解散承認の件」、第 2 号議案「会員組織の特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議への移行承認の件」、第 3 号議案「財産の特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議への譲渡承認の件」、第 4 号議案「事業の一切（権利・義務）の特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議への譲渡承認の件」を一括で審議し、すべての案件が、原案どおり承認可決され、NPO 法人成立後に現在の任意団体は解散することになりました。

設立総会で定款や事業計画などを承認

臨時総会に引き続き、午後 1 時 30 分から、「特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議設立総会」を開催しました。

設立当初の社員 121 名（委任状出席含む）が出

席し総会が成立。その後、議長に石原了さんを選出し、議事に入りました。議長の進行により、第 1 号議案「設立認証申請承認の件」、第 2 号議案「活動目的等の確認の件」、第 3 号議案「定款承認の件」、第 4 号議案「設立当初の財産目録承認の件」、第 5 号議案「設立初年度及び翌年度の事業計画書承認の件」、第 6 号議案「設立初年度及び翌年度の収支予算書承認の件」、第 7 号議案「設立代表者の選任の件」、第 8 号議案「議事録署名人の選任の件」を個別に審議し、すべての案件が、原案どおり承認可決され、大阪府へNPO法人の設立認証を申請することになりました。

なお、設立総会で選任された役員は以下の方々です。〈敬称略〉

理事長：谷崎利男、**副理事長**：石原了、丸井晶子（以上市民）、**理事**：石川聡子、鍛冶谷知宏、鎌田徹、末岡妙子、中村正紀、新島健士（以上市民）、青木良平（関西電力㈱枚方営業所所長）、池島英紀子（自然環境センター代表）、伊丹均（枚方市環境保全部部長）、井上祥子（国際ソロプチミスト枚方ー中央）、田中隆夫（北大阪商工会議所中小企業相談所所長）、早川博善（大阪ガス㈱北東部地区支配人・理事）、宮本利明（特活ひらかたNPOセンター運営協議会理事長）、**監事**：稲田増光（市民）、金谷伸太郎（枚方市環境総務課課長）

大阪府に申請書提出、4月にはNPO法人に

総会終了後の 11 月 21 日に、大阪府に認証申請書と添付書類を提出し、受理されました。今後、申請関係書類（定款、役員名簿、設立趣旨書、事業計画書、収支予算）が、大阪府において 2 か月間縦覧に供され、申請から 4 か月後の 3 月下旬には認証の決定が行われ、4 月上旬にはNPO法人としてスタートする予定です。

●各部会の活動

自然環境部会

守りたいね、身近な自然 蹉跎東小・学校林の整備活動を始める



環境ひらかた 10月号で「守りたいね、身近な自然」と書きました。しかしなかなか難しいことです。まずは残したいと思う“場所”“もの”のある近隣の人たちの、意識と行動が“保全”という方向に向かないことにはどうにもなりません。

エコフェアで「残したい身近な自然、市街地緑地は？」というアンケートをしたところ、蹉跎東小の学校林が残したいものの一つに挙げられていました。10月からこの学校林の整備活動に取り組み始め、12月3日に初めての作業をしました。今後月2回活動を行う予定をしています。もちろん最終的には、「地域の人たちによる保全活動」が行われるようになることを願っての活動であることは、言うまでもありません。

ごみ・エネルギー部会

長尾小で廃食油リサイクルの出前授業実施

★ひらかた自然エネルギー学校 2005 運営WG：講座は第6回まで終了し、1月14日の第7回を残すのみとなりました。

★廃食油リサイクルWG：11月8日、長尾小学校6年生（約120人）を対象に、出前授業「廃食油のリサイクル」を実施しました（写真）。

★地域ごみ減量WG：生ごみの堆肥化・有機野菜の栽培を核とする「食の市内循環システム」の試験的構築を目指して、先進事例の調査・検討を始めました。

★雨水モニターWG：枚方市障害者事業協会の協力を得て、グリーンハウス福祉事業所の鉢植え花壇の散水と液肥希釈用に毎月約200ℓ利用しています。



公共交通部会

レンタサイクル実験終わる、本格実施に向け検討始める



★レンタサイクル実験が終わりました

昨年11月10日～16日、牧野駅と中央図書館に貸出ポートを設け（写真）、レンタサイクル実験を行いました。今後、利用者へのアンケートなどこの実験で得られた成果を基に、レンタサイクルの本格実施に向けて、課題を検討していきます。

★「くずは・男山バスタウンマップ」づくりを進めています

バスタウンマップ作成のためのアンケート調査を地域の自治会を通じて実施しています。また、12月11日には、樟葉駅前にて街頭アンケートを実施しました。

まちづくり部会

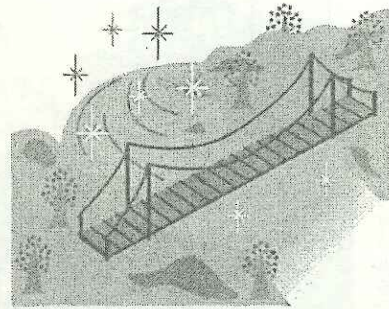


天の川大清掃に参加

11月5日(日)に実施された天の川再生実行委員会主催の第4回天の川大清掃には、まちづくり部会を窓口として参加しました。当日は天気もよく、心地よい汗を流しました。

11月20日(日)のエコフェアでは『まちのもったいない』をテーマにパネル展示をし、来場者から意見を伺いました。

枚方のまちを知るためのフィールドワークは、厳寒期は休止し、暖くなる3月頃から再開いたします。ご期待ください。



環境教育サポート部会



エコフェアで環境紙芝居と自転車発電が子どもに好評

エコフェアでは、部会の写真による活動展示のほかに、屋外展示場で自転車発電装置を用いた環境体験学習と環境紙芝居、絵本、副読本の展示、読み聞かせを行いました。

コーナーを2つもらえたので同時に行うことができ、イスを7脚ほど並べ、来場者に座って聞いてもらうことができました。紙芝居は「生き生き地球館」から借りた手書きの大きな紙芝居だったので迫力がありました。また「もったいないばあさん」は楽しく読む中で、物と心の大切さを伝える絵本でよく聞いてもらえました。一方、自転車をこぐとテレビモニターが映る仕組みの「自転車発電装置」は、男の子に人気がありました。なかには何分もテレビが映り、周囲の人たちの喝采を浴びた子どももいました。スタンプラリーの1コーナーになっていたので昼前後はたくさんの人たちが訪れました。

(環境教育サポート部会・石川忠義)

運営委員会



運営スタッフに新メンバー

先輩に誘われるまま本会に入りました。会社生活で得た管理や経理の知識がお役に立てばと思っています。還暦を過ぎた今「まだ見ぬ方の花を訪ねむ」の心境になっている“三井靖彦(みい・やすひこ)”です。本会の活動が多岐に亘りまだ実情がつかめていませんが、よろしく願います。会社退職後はもっぱらアウトドア派に転向。ここ数年はハイキングや里山保全ボランティア、マラソン挑戦に頑張っています。趣味は古代史。京阪奈はこの時代の中心地で弥生から平安まで面白い歴史が一杯です。これからは認知症防止のため英会話を始めようかと思っています。

4月から、本会は法人組織になります。私たちボランティア会員の活動に変化はありませんが、今まで以上に組織としての活動や意識が求められると思います。さらなる発展に向けて頑張りたいと思います。

公共交通部会の「レンタサイクル実験」をごみ・エネルギー一部会員が紹介します

環境にやさしい自転車利用を促進

中央図書館前でレンタサイクルを利用する親子



中央図書館—牧野駅で実験

環境にやさしい交通手段であるレンタサイクルシステムを構築するために、昨年 11 月 10 日から 16 日まで、「枚方市立中央図書館」「輝きプラザきらら」と、最寄り駅である「京阪・牧野駅」との間で、公共交通部会が実施したレンタサイクル実験にお伺いしました。

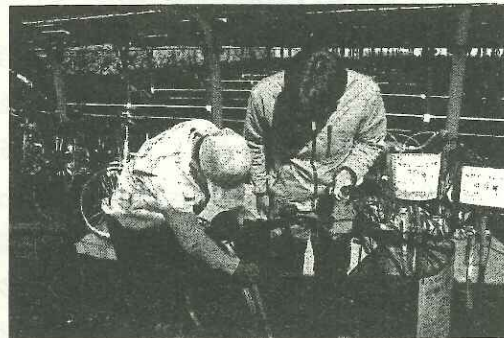
行政やエコサイクルなどと協働で実施

この実験は、健康的で環境負荷の少ない自転車の利用を促進することや、近距離における移動手段のマイカーから自転車への転換、穂谷川沿いに整備が進められている大阪府北河内自転車道の活用などの目的で、枚方市や、大阪府枚方土木事務所、枚方エコサイクルとの協働で実施したものです。

現在、中央図書館・輝きプラザきららへの交通手段は、京阪・枚方市駅からの路線バスのみで、最寄りの牧野駅からは徒歩で 20 分もかかることから、自転車道を活用したレンタサイクルという新たな交通手段を利用して快適に両施設へ足を運んでもらうことも狙いのひとつです。

利用者に「みどころマップ」を配布

さらに、駅と施設の往復だけでなく、少し足を伸ばして地域の名所を散策してもらおうと、利用者には「みどころマップ」を配布し



自転車を整備する「ひらかたエコサイクル」のメンバー

ました。

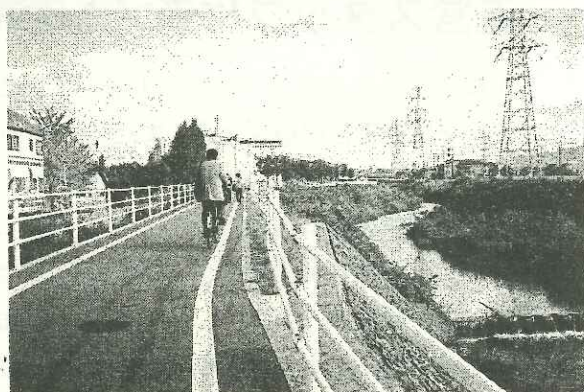
また、今回の実験で使用した自転車は、粗大ごみや放置自転車など不用になった自転車を修理・再生している「枚方エコサイクル」からの提供を受けました。

公共交通部会の鎌田徹さんは「レンタサイクルシステムが構築できれば、近距離の移動でマイカーを使う人が減り、環境保全に役立つのでは」と話していました。

<取材者の感想>

利用しやすいよう工夫を

市内で自転車専用道路がもっと各所で整備されること、及び自動車より自転車の方がいろいろと有用性があることをもっとアピールして、またレンタサイクルを利用しやすい工夫をして、今後レンタサイクルが広く普及することを願っています。



穂谷川沿いを走る利用者。穂谷川には、かるがもの親子がすいすい泳いでいました

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
☎072・847・2286

NPO法人化に伴い事務局を市民で運営 事務局の有償職員を公募予定

運営委員会では、4月のNPO法人化に向け、事務局で勤務する有償の職員を、若干名公募する方向で検討を進めています。

これは、法人化に伴い、今まで行政（枚方市）が担ってきた事務局を、市民が担うことになるため、法人独自で新たな事務局職員を雇用する必要がでてきたからです。

新しい事務局を確立するためには、スタッフの充実が欠かせません。会員や知り合いの方などで事務局職員にふさわしいと思われる人がいましたら、ぜひ応募いただけますようお願いいたします。

公募の詳細は、決まり次第、ホームページやメールマガジン、またはハローワークなどで発表しますので、今しばらくお待ちください。

ネットワーク会議の会員を募集しています

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民（個人、団体、サークル、NPO）、事業者から広く募集しています。

入会を希望される方は、電話・FAX、Eメールで、事務局まで申し込みください。

「環境のへえ〜」Vol. 7

●日本は世界で一番多くティッシュペーパーを使っている国です。ふきんやぞうきんの汚れを落とすのに使う水の量と比べて、ティッシュペーパーを作るときに汚す水は、2倍ほどにもなります。

●もし冷暖房の温度を2度ひかえめにする、テレビをまったく見ないのとほぼ同じだけ二酸化炭素を減らす効果があります。

●地球は「水の惑星」と呼ばれていますが、97.2%は海水で、真水もほとんどが北極と南極の氷です。水道水として私達が使えるのは川の水で、地球の水全体のたった0.0001%しかありません。日本は雨が多く、水に恵まれた国ですが、川が急流で短く、降った雨がすぐ海に流れてしまいます。そのため、利用できる水は限られています。

「やってみようエコチェック」講談社 著者 高月紘、堀孝弘

まちやバスについて意見交換しませんか 1月28日(土) 楠葉公民館 くずは・男山バスタウンマップづくりワークショップ開催

公共交通部会では、環境に優しいバスの利用を促進するため、くずは・男山地域のバスタウンマップづくりを進めています。

昨年末に実施した“まちやバス”についてのアンケート調査をもとに、マップづくりのワークショップを開催します。くずはや男山の“まちやバス”に関心ある方、くずはや男山をもっと知ってみたいと思っておられる方など、ご参加

をお待ちしています。

日時：1月28日(土) 午後2時～4時

場所：楠葉公民館 音楽室

応募資格：どなたでも参加できます

定員：先着30人

応募方法：1月20日までに、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、はがき、ファクス、Eメールで事務局へ

会員数(平成18年1月1日現在):正会員197名(個人162、団体35)、賛助会員40名(個人33、団体7)

団体紹介 コーナー 大阪ガス(株)

設立：1897年 社員：7081人
コミュニティ室副課長：橋本 茂
<http://www.osakagas.co.jp/>

天然ガスをはじめ地球環境にやさしい製品・サービスを提供

大阪ガスグループでは、地球環境に優しい天然ガスをはじめ環境負荷軽減に寄与する製品・サービスを提供し、お客さまとともに環境負荷を軽減する取り組みを行っています。

天然ガス自動車の普及を促進

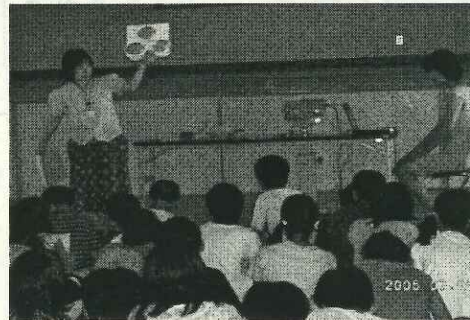
天然ガスは、石油や石炭といったほかの化石燃料に比べると、燃焼時のCO₂やNO_xの発生量が少なく、SO_xが発生しないクリーンなエネルギーです。天然ガス自動車は普及促進中で、現在、近畿地区では約6400台が走っています。

冷暖房温度の適正化など省エネに取り組む

温室効果ガスの発生を抑制するため、ガス製造時に発生する冷熱・圧力で電気を起こしたり、事務所での昼休み時間の消灯や冷暖房温度の適正設定に取り組んでいます。

環境教育を支援 大阪ガスでは、エネルギーや環境教育の支援活動を行っています。

[連絡先：大阪ガス北東部リビング営業部コミュニティ室 TEL (0729) 66-5382 橋本まで]



ガス科学館や姫路ガスエネルギー館での郊外学習や、学校の出張授業、団体様向け環境セミナーを実施中！

エネルギー効率のよい機器などを開発

CO₂排出量抑制貢献のため、エネルギー効率のよい機器やシステムの開発、普及に取り組んでいます。家庭用ガスコージェネレーションシステム「エコウィル」は、平成17年度環境大臣表彰を受賞。家庭用潜熱回収型給湯暖房機「エコジョーズ」はバーナーの形やごとの高さを工夫した高効率コンロです。ぜひ一度ご覧ください。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は自然エネルギー学校やレンタサイクル、環境くらわんか塾、ブラックイルミネーションなど、多くの成果を残しました。「枚方を環境先進都市にする」という目的のもとに、会員の皆さんがそれぞれの立場で持てる力を存分に発揮された成果であったと思います。今年はNPO法人となり、活動の場も広がります。組織の形が変化しても会員ひとりひとりが原点を忘れず、市民・事業者・行政の三者が協働して事業を推し進めていくことができれば、さらに大きな飛躍の年となると信じています。
(鍛冶谷 記)

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第8号

平成18年1月1日発行(年4回発行)

発行：ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サプリ村野内(旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：鍛冶谷 知宏

この会報誌は古紙再生紙を使用しています。

